

Twitterのフォロワーを効率よく獲得するプログラムの検討

T190495 佐々木海斗

指導教員 三好 力 教授

1. はじめに

近年、SNSのアクティブユーザーは年々増加している。SNSは単なる連絡手段や趣味ではなく、商品やサービスの広告などといったビジネスとしても利用されている。

そこで、ビジネスとして利用されるアカウントは、SNSのフォロワー数が多いアカウントが比較的にビジネスとして仕事を受けやすく、有名人ではない人もフォロワー数の多さでビジネスの案件を頂いているユーザーもいる事から、SNSのフォロワー数は非常に重要視されている。

以上の事から、ゼロからアカウント作成しフォロワーを獲得するには、定期的にツイートをし、多大なる時間や労力をかけてしまう場合が多いようである。そのため、時間がかかる作業を自動化することで効率の良い運用が可能だと考えた。本研究では、Twitterにおいて拡散力のあるアカウントになるよう自動的に運用し、効率よく容易にフォロワーを獲得できるシステムを提案する。

2. 提案手法

以下の4つの機能を搭載したシステム利用する。

自動ツイート(定期投稿・時間指定投稿)(2)ヴィッセル神戸に関するアカウントにフォローを返す(3)ヴィッセル神戸の試合のスコアを速報アカウント@jleagueから取得しツイート。(4) #ヴィッセル神戸 もしくは #visselkobe のハッシュタグツイートを自動いいね

3. 実験・実験結果

今回の実験では、サッカーの国内リーグであるJリーグのヴィッセル神戸というクラブチームの専用アカウントとして運用することにする。そして、そのシステムを3ヶ月運用し、考察を行う。また、いいねする機能がもっともフォロワー数の増加に関係すると仮定したので、一部の期間をいいねする機能の無い状態で運用し、フォロワー数の変化の考察を行う。

また、個人で手動運用したアカウントと比較して、提案システムの実用性を考察する。

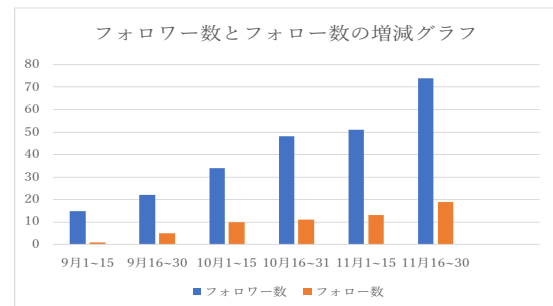


図1. 実験結果グラフ

4. 考察・まとめ

実験から得た結果の図1を参照すると、11月1~15日の一部の機能を除いてもフォロワー数はしっかりと獲得し、着実にフォロワー数を獲得できていると判断できる。

しかし、三ヶ月の短い期間で100人も満たない人数である為に、拡散力のあるアカウントになるようになるまでは、多大なる期間をかける事になると考えられる。そのため、短期的にフォロワーを獲得するには、拡散されそうなツイートでバズらないと爆発的にフォロワーを獲得するのは難しいと感じた。